

# 進む政治の私物化 瓦解する官僚たち —メディアと日本の危機—

東京新聞社会部記者

いそこ

講師：望月衣塑子さん

1975年東京生まれ。慶応義塾大学法学部卒業後、東京・中日新聞社に入社。千葉支局、横浜支局を経て社会部で東京地方検察庁特別捜査部を担当。2014年日本歯科医連盟による闇献金疑惑の一連の事実をスクープ。

2017年10月現在社会部遊軍。「武器輸出及び大学における軍事研究に関する一連の報道」が「第23回平和・協同ジャーナリスト基金賞」の奨励賞。菅官房長官に対する記者会見での質問をまとめた動画と単著が2017メディアアンビシャス賞の特別賞に選ばれた。

近著に『権力と新聞の大問題』（対談。集英社）、『フェイクと憎悪』（共著。大月書店）、『しゃべり尽くそう！私たちの新フェミニズム』（対談。梨の木舎）がある。



皆さんは「国民が主権者だ」ということを実感できていますか？  
 情報が正確に提供されていると感じますか？  
 「情報公開」は「民主主義」の大前提だと言われています。  
 今の情報メディアはその役割を十分に果たしているでしょうか？  
 菅官房長官に鋭く質問するなどメディアの現場で活躍されている  
 望月さんのお話をお聞きし、「一緒に考えましょう！」

## 12月2日(日)14時～16時30分 (開場13時30分)



会場：狛江市民センター（中央公民館）

第4会議室（2階）

（小田急線「狛江」駅下車徒歩5分）

参加費：500円（学生・障がいのある方 無料）

主催：平和憲法を広める狛江連絡会・ピーストレイン

連絡先：03-3488-1437 小俣

ホームページもあります